

恋の場外乱闘

30歳目前。もう手段は選ばない。恋愛成就を求めて奔走する、覆面ライターの顛末は…

「うさん臭え～」とこれだけは敬遠していた「ねるとんバーティ」。だが、「崖っぷち」の私はゼータクなんぞ言えマセン。とりあえず「男28～38歳、女26～36歳、会話重視タイプ」ちゅ～薪そ～なヤツに挑戦してみた。

サツツねるとん 編



電話申込みの時にケータイ以外に家のTEL番号と住所も聞かれた。「トラブル防止のため」って本当かよ。ますます不信に思ったが乗りかかった船。当日、これまたうさん臭い雑居ビルの一室に行くと、構内にイスが並んでた。来ていたのはまだ4人くらいで、いずれも女性のコ。



ずっと女子高で、おさげとメガネと詩集で過ごした
ような人、ちいとトウがたったOL風など。男の方も
ぼちぼち来始めるが、どうにもバッ珍惜しい。櫻め付
けはパールサンガのTシャツにSATYの袋のオッ
サン！ なんだかうまい。顔をあげることができない。



総勢24名のヘンな集団。この場が「UFOを呼ぶ会」とかだったら、もっと気が楽だったろう。流れ作業的に彼らと1分ずつ会話をしたあと、印象が良かった5人にカードを渡す。続いて10分ほどのフリーダイミング。とりあえず隣に座ってたフツボウの人のことをお話し。



小さいけど広告代理店に勤めてるという。あながち違う業界でもないし、最後に渡すカードの欄に彼の番号を書いたら、なんとかカップルになってしまった。「うん、コンビニエンス！」。簡単やなあ。こんな簡単にカップルにならへえんかあ？　ま、とりあえず「まずはメル友から」…。

抵園にあつて食い倒そうが飲み倒そうが、もうどうでもいい。ただ、もう少し良心的バーにてまかないの儀が始まるのは、23時から24時あたり。それはちょうど電気時間のメカニズム。サラリーマンの波が去り、仕事を終えお嬢さんや芸妓さんは、登場を前に「適当な夜食」を採る。店長は「アビト君」のために、作る夜食を見て見よう。「ご飯の上にレタスのクッシュン、その上に余った鶏肉のピリ辛炒めがのっかかる。刻んだ野菜や昆布のブイヨン濃厚なスープや自家製おかずを前に、店長の料理領域の広さに脱帽。これは「一つの世の中のため」また「まかない止まりは阻止めない」といふと、材料費の喜ばしい返事。実はそんなわがままオーダーは深夜の茶飯事らしく、変わった注文の方が料理魂に炎が点くのだと、お嬢さんの望みに応える志の高さは見上げた。もんだし

紙一重を行き来する
まかない&新メニュー
祇園ワーカーが選ぶ

CHECK IT OUT!!

ロコミ 情幸辰 カタログ

編集長の

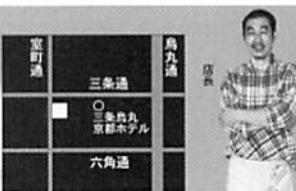
語 英語入り書籍 100%の人生マニュアル

うちのまかない

おじせ当解剖



「ウマイっす」と叫んだっきり、茶碗を離さないバイトの坂場大クン。ロン毛でうさ芸なあかったボクを雇ってくれて、感謝してマス



レストラン
qualite

カリテ
京都市中京区室町通三条下ル
烏帽子屋町476-1
075・255・0084
11:00～21:00
土日11:00～15:00／無休

[その他メニュー]
日替わりランチ 700円
手作りハンバーグ 800円
手作りステーキ 800円
ピカチュー! 800円

くる。実は限定30食、12時30分には売り切れのはずも、そこは料理人の心意気。お客様が望めば、手を変え品を変え「想いまで叶える限り作るよ」とアリガタイ言葉。

思いつきは立派な一歩
あとは前進あるのみさ 人生もフリペも

Fun Cafe



音楽活動の中、初の
一歩のカバーイラスト
った「Fun Cafe」の
フリベタイトルに採

フリベ作りをする友人に刺激され、半ば実験的に作り始めた「Fun Cafe」。創刊号の構想から発行を一週間でやってのけたのは、熊木氏なる青年。仕事が早けれど、妥協は許さず、自身に縛め切りを課し、幾度となく読み直しをする完璧主義者。その紙面は行き当たりばったりの特集。百枚を越える所蔵CDから音楽紹介、社会派コラム、コンビニグルメ調査など、興味の範囲も超ワイド。特集では、ある時は散歩好きな彼が「歩け歩け大会」と名付けて大阪・吹田市から奈良市まで歩き倒したルポ、またある時はフリペの作り方をイチから教えてくれたりと、無から有を生み出すためのキーが鈴

